

園だより



ひなぎく

令和4年2月25日

成長した子どもたち

園長 渡邊 博典

真冬の寒さから春の訪れを感じるような暖かな日差しになり、梅の花が見頃な季節となりました。あと1か月で園庭の桜も満開になることでしょう。新型コロナの流行による社会情勢の変化から2年が経とうとしています。本園においても予断を許さない状況が続いていますが、今年こそ収束してほしいと願うばかりです。

さて、先月の園だよりは「子どもたちに『本物』を」というタイトルで書かせていただきましたが、まさに今月のプロ劇団による劇はそれに匹敵するものでした。子どもたちの目の輝きが違いました。二人芝居の展開でしたが、演者の問いに園児たちの応答を台詞として組み込むという演者と一体になって進行できる工夫もあり、子どもたちは一様に「楽しかった」「面白かった」と会場を後にしていきました。舞台の場面切り替えや台詞の一つ一つに観ている者の心をつかむ本物の力を感じました。保護者会のご厚意でこのような価値あるものを鑑賞することができ、感謝いたします。ありがとうございました。

今年度も残すところあと1か月。昨年4月に入園した年少児は体も心も健やかに成長し、落ち着いてお仕事に取り組む姿が定着してきました。登園時に大きな泣き声が響いていた頃が懐かしいです。年中の子どもたちは4月からお兄さん、お姉さんになる意識が芽生え、年少さんをしっかりとリードする姿が多く見られるようになり、頼もしいです。そして、年長さん、クリスマス会の発表やプラネタリウムの見学では、「ひなぎく幼稚園の顔」と思える立派な行動が顕著でした。4月からは小学生。お友達と別々の小学校に入学する子どもも多いと思いますが、前向きな気持ちで新たな一歩を踏み出せるよう願っています。

3月は終わりの月であり、次の始まりへの準備の月でもあります。年少、年中、年長の園児全員が、笑顔で卒園式や修了式を迎えられるよう、一人一人を大切に見守っていきたいと思います。

【連絡1】

新型コロナの感染が続いていますが、年長さん全員が元気に卒園できることを祈っております。感染対策から今年度の卒園式も、出席者を1名とさせていただきます。ご理解ください。万が一、病気等で当日出席できないときは、別日（24か25日予定）に卒園式を設けさせていただきます。

【連絡2】

園の納付金等を郵便局からの引き落としに変更させていただきましたが、大きな混乱もなくご協力いただき、感謝いたします。なお、卒園児は3月の延長保育の料金を4月に引き落としますので、口座の解約は5月以降にお願いします。転居等で早く解約したい等の相談は事務室までお願いします。